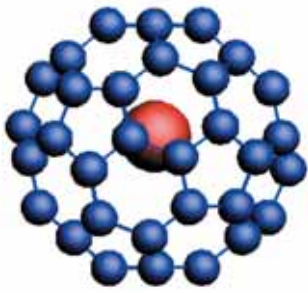
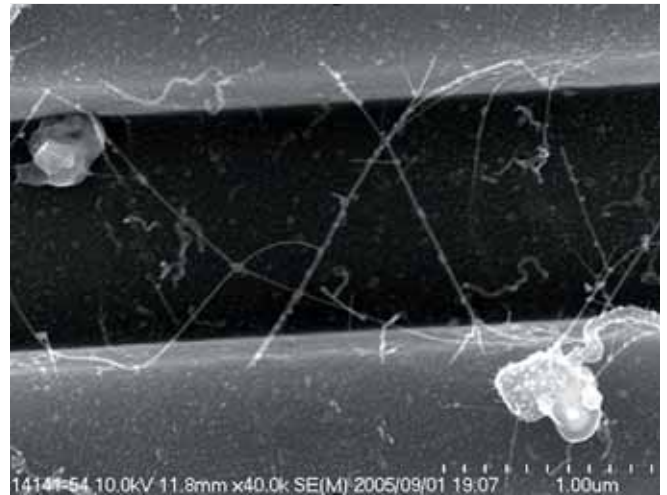


「ナノ・マイクロ制御物質科学：新規な構造と機能の創成」

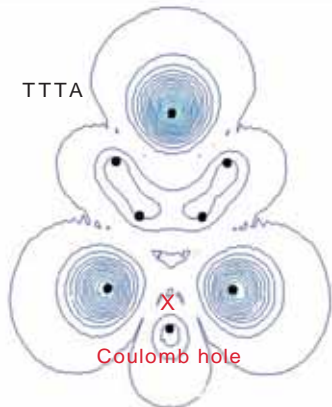
(大野かおる代表、田中正俊、武田淳副代表)



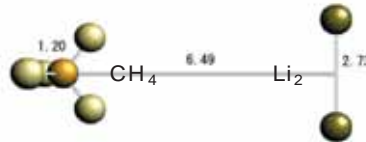
⁷Be半減期減少



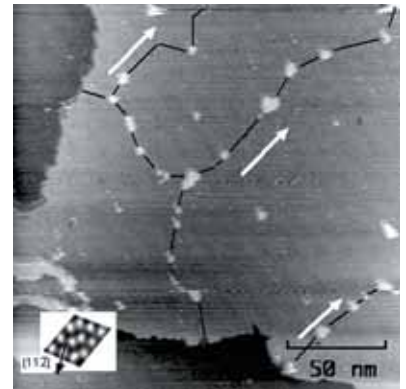
カーボンナノチューブの接木



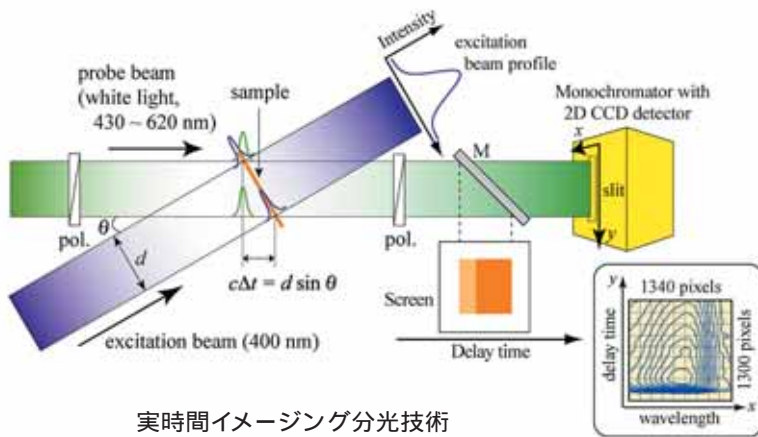
2電子分布関数の
7-行列計算技術



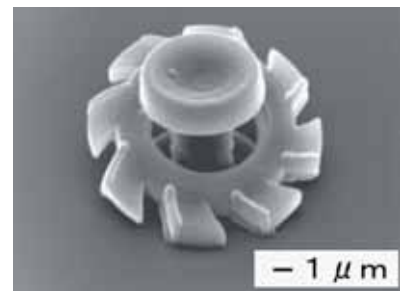
光捕集機能発現



Siクラスター配列制御



実時間イメージング分光技術



ナノマイクロ光造形法

ナノ・マイクロ構造の組織化と新規な機能の発現を目指して、物質設計、構造制御、光機能制御の3研究グループで推進してきました。8月3日にはナノ・リサーチ・クラブ(荻野俊郎、丸尾昭二ほか)の主催で多くの地元企業を交えてナノテクノロジー・シンポジウムを中央図書館で開催しました。参加者は180名にのぼりました。また、3月10日にはナノテク交流シンポジウムを横浜市立大学で開催しました。1月19日には合同成果報告会を本学で開催しました。これらを通して、C₆₀中の⁷Be半減期減少、2電子分布関数の第一原理計算技術、光捕集機能発現、カ

ーボンナノチューブの接木、Siクラスター配列制御、光誘起相転移、実時間イメージング分光技術、ナノマイクロ光造形法をはじめ様々な研究成果を発信しました。

総合評価 ナノ領域での構造、物性を基礎にして、機能発現をめざす重要な研究に取り組んでおり高い評価ができる。今後は革新的な技術に結びつくような展開を期待したい。

外部評価委員： 仁科雄一郎先生(東北大学名誉教授)
塚田捷先生(早稲田大学)